

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022/3/1
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	リーウェイズ株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2014年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		8年
4	事業所	事業者の本店住所・郵便番号		必須	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-15-9 CREST表参道3階
		事業所数(国内、国外)			2
		主な事業所の所在地			東京都渋谷区神宮前3-15-9 CREST表参道3階 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-400 大阪駅前第1ビル4F 1-110
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	・不動産取引の意思決定を支える情報インフラの提供 ・不動産、資産運用のコンサルティング業務
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	巻口 成憲
			代表者写真		
			代表者年齢		50
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択	1971年生まれ。立教大学大学院修了、早稲田大学大学院修了。社会人キャリアを巣鴨の新聞販売店で専売としてスタート。2年の新聞配達生活のあと、国内不動産デベに入社し経理業務に従事しつつ、基幹システムをVBとOracleでスクラッチで構築し、システム開発の責任者を兼任。その後グローバルコンサルティングファームのKPMGコンサルティング(現プライスウォーターハウスクーパース)に転職。ナレッジマネジメントと人事制度プロジェクトを数多く担当。MBA取得後、トーマツコンサルティング(現デロイトトーマツコンサルティング)に転職し、BSCや制度設計プロジェクトを担当。2005年リノベーション事業を展開するリズム株式会社設立に参画。専務取締役役に就任しマーケティング、販売部隊のトップとして売上高70億円の企業に育てる。2014年IT不動産を事業の柱とするリーウェイズ株式会社を設立。すべての不動産投資家、不動産事業者に向けたオンラインメディア「Gate.Channel」を運営。2017年6月次世代の人工知能不動産プラットフォーム「Gate.」をリリース。
7	役員	役員数	選択	4名	
		役員氏名及び役職名		巻口成憲(代表取締役)、佐伯知昭(取締役)、近藤秀樹(取締役)、岡本哲治(監査役)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	18名(2021年1月末時点)
- 財務状況					
9		売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	217,887,577円(2020年10月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
11	財務データ	資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	100,000,000円(2022年3月1日付で変更)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	上場無し
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	無し
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	オリックス銀行、静岡銀行、イオン住宅ローンサービス
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	みずほ銀行、三井住友銀行
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	公益社団法人全日本不動産協会、一般社団法人不動産テック協会
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	巻口成憲(代表取締役兼管理本部長)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	管理本部
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	情報セキュリティ管理規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	選択	販売管理規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有り
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	必須	販売管理規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性					
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	Gate.

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2016/6/23
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		Investment Plannerリリース(2017年6月) Market Surveyリリース(2019年6月10日) Investment Plannerフルリニューアル(2020年3月9日) Office Market Surveyリリース(2020年8月3日)
		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	不動産価値分析AIクラウドサービス「Gate.」は、過去12年間以上の期間に渡り独自に収集した2億件を超える物件データ(2021年3月時点)を元に、人工知能を活用した不動産の査定・投資分析シミュレーションや市場分析・ハザード情報の提供を行っています。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		有り オフィスナビ株式会社と共同で「Gate. Office Market Survey」を運営しています。オフィスナビ株式会社からオフィス物件データをリーウェイズ株式会社に提供いただき、リーウェイズ株式会社に、データ集計・分析をし、Webアプリケーションとして提供しています。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	接続元IPアドレス制限、個人情報入力制限などのオプション機能を用意しています。オプション機能の対象外のカスタマイズのご要望については、別途の契約により承っております。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	サービスを終了する場合、中止の3ヶ月前までに通知をした上で、本サービスの全部または一部の提供を中止することがあります。ただし、緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。
		告知方法		電子メール、書面または提供者が運営するウェブサイト
33	サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		利用規約上の記載はなし。ご要望に応じて対応。
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り ■電話 連絡先: 03-6712-6745 受付時間: 平日 10:00~18:00 ※夏季休業期間・年末年始・土日・祝祭日を除く ■メール 連絡先: bp@leeways.co.jp 24時間365日受付(応答: 休業日の場合、翌営業日内)
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無し
		固定部分の課金方法		契約時に個別見積もり
36	料金体系	初期費用額	必須	契約時に個別見積もり
		月額利用額		契約時に個別見積もり
		最低利用契約期間		1ヶ月

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
37	サービス品質	解約時ペナルティ	必須	有り 年間利用契約を締結した場合において、期間満了の2ヶ月より前に解約の申し出をした場合、期間満了までサービスを利用することができるものとします。なお、事前にお支払いいただいた1年分の利用料金および消費税相当額については、返金致しません。	
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	無し(届出した日の月末日をもって解約)	
39	サービス品質	サービス稼働設定値	必須	稼働率: 100%(2020年6月1日~2021年5月30日) パターン2 稼働率の対策参照値: 99%以上	
40		サービス稼働設定値	サービス停止の事故歴	必須	無し
		サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	
41		サービスパフォーマンスの管理	サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)	選択	
		サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	
42		認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	
43		個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	弊社ホームページ「Gate. 個人情報取り扱いについて」に掲載
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	アプリケーション
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)	選択	頻度: 年1回以上 対応状況: アプリケーションの脆弱性を修正
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	1日
	世代バックアップ(何世代前までかを記述)		必須	7世代	
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択		
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSIに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2020 社会業界特化系ASP・SaaS部門 準グランプリ受賞	
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	無し	
49	サービス利用量	利用者数	選択	176 (2021年4月末時点実ユーザー数)	
50		代理店数	選択	24社	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Gate.
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	不動産価値分析AIクラウドサービス「Gate.」は、過去12年間以上の期間に渡り独自に収集した2億件を超える物件データ(2021年3月時点)を元に、人工知能を活用した不動産の査定・投資分析シミュレーションや市場分析・ハザード情報の提供を行っています。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	リーウェイズ株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	
		標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	Trend Micro社のCloud One Workload Securityの機能によってシステム全体の死活監視を実現しています。監視インターバルは10分です。
		障害時の利用者への通知時間		発生から原則1営業日以内に利用者に対して通知します。
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有り アプリケーション、サーバログの監視により障害を検知
56		時刻同期	必須	Amazon Time Sync Service と同期 各リージョンで衛星接続された原子基準クロックを使用し、ネットワークタイムプロトコル(NTP)を通じて世界標準時(UTC)の現在の正確な現在時刻を表示します。Amazon Time Sync Serviceは、UTCに追加されたうる秒を自動的に均一化します。
57		ウイルスチェック	必須○	有り 常時リアルタイムにウイルスチェックを実施。 パターンファイルはベンダーから提供されたい即時に反映。
58		記録(ログ等)	必須○	有り アクセスのログを全て保存。 保存期間: 半永久的に保存。保存する容量を超えた場合、古いログは削除するまたはサーバーの容量を増加することを利用者により決定可能。
59		セキュリティパッチ管理	必須○	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間) 週2回の定期メンテナンス時に更新
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	利用者とデータセンター間のユーザ接続回線は、責任を負わない
61		推奨帯域	必須	特になし
62		推奨端末	必須	端末: PC, iPad OS: Windows, macOS, iPadOS
		利用するブラウザの種類	必須	Google Chrome(Windows, MacOS), Safari(iPadOS)
63		ファイアウォール設置等	必須○	有り
64		不正侵入検知	必須	有り
65		ネットワーク監視	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
66	セキュリティ	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有り 情報セキュリティ管理規程
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ メールアドレス、パスワードで認証。接続元IPアドレス制限機能もオプションで提供しています。
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 有り 管理者の許可のもと、担当者にて登録
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 有り 利用者と管理サーバとの通信は全てSSLを使用。SSL照明によりサーバの正当性確認が可能
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 データセンター専用建物(Amazon Web Services)
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 日本・東京リージョン(Amazon Web Services)
73		耐震・免震構造	耐震数値 免震構造や制震構造の有無	必須 Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明 有り
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 有り 電力供給時間: Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 有り
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 有り 連続稼働時間: Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 有り ガス系消火設備である。
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須 有り 保存期間: Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間	有り 稼働時間、監視範囲、保存期間: Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明
		個人認証システムの有無	有り	
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須 Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明	
		保管管理手順書の有無	Amazon Web Services(AWS)が非公開のため不明	
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0252-2107

サービス名称: Gate.

事業者名称: リーウェイズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	サービス窓口 (苦情受付)	連絡先	必須○	<ul style="list-style-type: none"> ■電話 連絡先: 03-6712-6745 ■メール 連絡先: bp@leeways.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		有り ■名称 オフィスナビ株式会社 ■本店所在地 東京都千代田区神田須田町1-12-3 アルカディアビル9F ■連絡先 TEL: 03-5244-4848
86	サービス窓口 (苦情受付)	営業日・時間	必須	受付時間: 平日 10:00~18:00 ※夏季休業期間・年末年始・土日・祝祭日を除く
		メンテナンス実施時間		定期メンテナンス: ・毎週火曜日 19:00~翌05:00 ・毎週木曜日 19:00~翌05:00
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)
		放棄率の実績値(単位:%)		
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		
88	サービス窓口 (苦情受付)	サポート範囲	必須	・サービスの利用方法・操作方法のご説明 ・アカウントの増減、権限、IP制限等のご相談 ・その他お問い合わせ対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メールの返信等
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	冗長化: アプリケーションサーバーを2台稼働させており、1台が停止した場合もサービスが継続する 負荷分散等: 2台のアプリケーションサーバーへトラフィックの分散を行っている
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り 利用規約「第6章 提供者の責任」
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		7日前
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		指定担当者にメールで通知 有り(サービスが停止するレベルの緊急度が高いものである場合)
92	サービス通知・報告	障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93	サービス通知・報告	定期報告	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。